

就学前教育と小学校教育の円滑な接続を目指して～「思考力、判断力、表現力等の基礎」のつながりを捉え、指導の改善に生かすための工夫～

研究の概要

研究の背景

【学習指導要領、幼稚園教育要領等の改訂】

就学前教育から高等学校教育までを通して、育成を目指す資質・能力が「知識及び技能（の基礎）」、「思考力、判断力、表現力等（の基礎）」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で示された。

【幼稚園教育要領（平成29年告示）等】

小学校以降の教育を見通して幼児の資質・能力を育む。

【小学校学習指導要領（平成29年告示）】

幼児期に育まれてきた資質・能力を踏まえて教育活動を展開する。

【幼稚園教育要領（平成29年告示）第1章総則、保育所保育指針（平成29年告示）第2章保育の内容、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年告示）第1章総則、小学校学習指導要領（平成29年告示）第1章総則】

就学前教育と小学校教育の円滑な接続が求められている。

【幼稚園教育要領解説（平成30年3月）等】

- ・ 幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培う。
- ・ 実践における幼児の具体的な姿から資質・能力を改めて捉え、教育の充実を図る。

【小学校学習指導要領（平成29年告示）】

- ・ 生活科において幼児期の教育とのつながり等を踏まえ、資質・能力（特に「思考力、判断力、表現力等」）が具体的になるように見直した。

研究仮説

幼児期から児童期にかけて育まれる「思考力、判断力、表現力等の基礎」のつながりを捉えた上で、保育者や教師が指導を改善することにより、幼児・児童は「思考力、判断力、表現力等の基礎」を発揮して遊びや学習に取り組むようになり、就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図ることができるだろう。

研究の内容1 幼児期から児童期の「思考力、判断力、表現力等の基礎」のつながりを捉える。

- 幼児・児童の姿を分析する際の共通の視点（「六つの視点」）の設定
- 幼児期から児童期にかけて育まれる「思考力、判断力、表現力等の基礎」のつながりを捉えるポイントの明確化

研究の内容2 「六つの視点」を生かして指導を改善する。

- 「六つの視点」を生かして保育・授業を振り返るための記録用紙
- 「六つの視点」を生かした指導案

研究開発物

「思考力、判断力、表現力等の基礎」のつながりを捉えるためのポイント

- ・ 「六つの視点」を活用することで、「思考力、判断力、表現力等の基礎」を発揮する姿を具体的に捉えることができる。
- ・ 学年が進むと、「思考力、判断力、表現力等の基礎」を発揮しながら、自ら活動を展開する姿が増える。
- ・ 小学校の教師が幼児期の経験を知ることで、指導の手だての参考にすることができる。
- ・ 保育者と教師が共通の視点を持ち、協議したり、互いの教育の方法を学んだりすることが必要である。

「六つの視点」

（幼児・児童の姿を捉えるための、保育者と教師の共通の視点）

幼児期の遊び及び小学校生活科において、幼児・児童が具体的に活動する姿として表れる「見付ける」、「比べる」、「たとえる」、「試す」、「見通す」、「工夫する」の六つの活動。

「六つの視点」を活用した記録用紙（授業者・保育者用）

指導資料 p.10 参照

授業者・保育者として、日々の実践を振り返るための記録用紙。

- ① 本時に見られた幼児・児童の行動やつぶやき、表情等をありのままに記録する。
- ② 右欄に示した「六つの視点」を参考に、幼児・児童の思いや願い、本時の活動を通して経験していることなどを捉える。①の空いているスペースに気付いたことをメモするとよい。
- ③ 翌日以降の具体的な手だてを考えて記入する。

「六つの視点」を活用した記録用紙（参観者用）

指導資料 p.11 参照

参観者として幼児・児童の姿を観察し協議の参考にするための記録用紙。

- ① 本時の幼児・児童の姿をねらいに照らし合わせ、中央の欄に示した「六つの視点」を参考に、印象に残った場面を記録する。
- ② 記録した姿を、参観後にあらためて「六つの視点」から振り返り、「思考力、判断力、表現力等の基礎」を発揮する姿をより具体的な姿として表す。
- ③ 協議した内容をメモする。

「六つの視点」を活用した保育指導案・学習指導案

指導資料 p.12~15 参照

遊び・活動名		
幼児・児童の実態と保育者・教師の願い		①
「六つの視点」を基にした、予想される具体的な幼児・児童の姿		保育者・教師の援助 環境の構成
見付ける		③
比べる		
たとえる		
試す	②	
見通す		
工夫する		

指導案の一部（予想される遊びや活動ごとに作成する部分）を抜粋したもの。

- ① 幼児・児童の実態を捉え、ねらいを明確にする。
- ② 幼児・児童が実際にどのように活動するかを、「六つの視点」を参考にしながら、予想する。
- ③ 予想した姿を踏まえて、援助や環境の構成を具体的に考える。

指導資料集をぜひ御覧ください。 ※ 以下のページからダウンロードすることができます。

東京都教育委員会トップページ > 学校教育 > 教育研究員・研究開発委員会 > 研究開発委員会 > 研究開発委員会指導資料 > 研究開発委員会指導資料（教育課題）

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/educational_research/development_committee/files/reference_materials_educational_issues/material_ei02.pdf